

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

応募方法

# 白石市ごみ収集日カレンダー (平成26年2月～平成26年5月分)

収集曜日が固定され、祝日も回収！ ごみの分け方などの詳細は、「ごみの分け方と出し方平成23年度～」をご覧ください。

平成26年2月 ※ごみの分け方などの詳細は「ごみの分け方と出し方 平成23年度～」をご覧ください							
地区名 ごみ区分	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
収集曜日	火	月	金	木	金	月	水
ペットボトル (第1曜日)	4日	3日	7日	6日	7日	3日	5日
びん類 (第2・第5曜日)	11日	10日	14日	13日	14日	10日	12日
缶 (第3・第5曜日)	18日	17日	21日	20日	21日	17日	19日
その他のプラスチック (第3曜日)	18日	17日	21日	20日	21日	17日	19日
もやせないごみ (第4曜日)	25日	24日	28日	27日	28日	24日	26日
紙類・容器包装 プラスチック	4・11・18・25	3・10・17・24	7・14・21・28	6・13・20・27	7・14・21・28	3・10・17・24	5・12・19・26
もやせるごみ	火・金 4・7・11・14 18・21・25・28	月・木 3・6・10・13・17・20・24・27	月・水・木 7・14・21・28	月・水・木 3・5・6・10・12・13・17 19・20・24・26・27	火・水・金 4・5・7・11・12 14・18・19・21 25・26・28		

平成26年3月 ※粗大ごみは集積所へ出せません。処理施設へ持ち込むか許可業者へ依頼してください(有料)							
地区名 ごみ区分	越 河 齋 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
収集曜日	火	月	金	木	金	月	水
ペットボトル (第1曜日)	4日	3日	7日	6日	7日	3日	5日
びん類 (第2・第5曜日)	11日	10日 31日	14日	13日	14日	10日 31日	12日
缶 (第3・第5曜日)	18日	17日 31日	21日	20日	21日	17日 31日	19日
その他のプラスチック (第3曜日)	18日	17日	21日	20日	21日	17日	19日
もやせないごみ (第4曜日)	25日	24日	28日	27日	28日	24日	26日
紙類・容器包装 プラスチック	4・11・18・25	3・10・17 24・31	7・14・21・28	6・13・20・27	7・14・21・28	3・10・17 24・31	5・12・19・26
もやせるごみ	火・金 4・7・11・14 18・21・25・28	月・木 3・6・10・13・17・20・24・27・31	月・水・木 7・14・21・28	月・水・木 3・5・6・10・12・13・17 19・20・24・26・27・31	火・水・金 4・5・7・11・12 14・18・19・21 25・26・28		

※不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

○ごみは、必ず当日の午前8時30分までに収集所に出してください。

○「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の袋は、中身がどちらかわかるよう袋の表に印を付けて出してください。

※ごみ収集日カレンダーは、目立つところに張ってご利用ください。

## 市民文芸

### 歌壇

岩崎 聰之介 選

鯉の子があどけなき口突き出だし小さき水の  
輪しずかに広く 鈴木 茂子  
病む弟に榮養つけんと豆を煎り糶なき時代見  
舞いしよ亡父は 大庭美智子  
足もとに舞う葉どれもが違う形これは手のひ  
ら天狗のうちわか 遠藤 舞  
老ゆるわれ自分のからだ守らんと健康診断ま  
めに受け来し 八嶋 正子  
地震の後くるしみ暮らす妹ら時折来るを吾は  
待ち居り 佐藤喜和子  
お日さまに合わせて過ごす午前午後冬至まじ  
かの暖かさがし 佐藤 啓子  
冬枯れの山の裾のべ明あかと実れる柿をもぐ  
人もなき 平間 久子  
早ばやと今朝も目覚めてしばらくは温き寝床  
で新聞めくる 阿部はぎの  
いつのまにか年の瀬となる庭に立ち来るあさ  
を不思議に思ふ 高子うみん  
岩に砕けまた集まれるもみち葉が 後藤 淑子  
流れゆくなり

### 俳壇

山家 弘子 選

魚屋の売り声高き文化の日  
小春日や笑顔にこぼるる新大使 沼田 営火  
城垣に硬くはりつく斑雪 服部 忠孝  
温泉の足湯に憩ふ山紅葉 岩松 隆志  
日矢さす菊にむらがる冬の峰 末吉アツ子  
別当内信夫

独り居の我にささやく残る虫  
乾鮭の南部産てふ吊られをり 斎藤 典子  
臘梅の咲くや一輪香のほのか 和田 游稀  
残菊を供花とし母の命日に 鎌田 三無  
木洩れ日を抱きて温き落葉かな 菅野ちさよ

評 一句目、日本の和食がユネスコの無形文  
化遺産になり、魚離れを憂慮していた日本の  
魚屋はどんなに喜んだことであろう。その売  
り声は今までになく元気がでるく弾んでい  
る。文化の日の季節がピッタリ。  
二句目、暗殺されて五十年のケネディ大統領  
の娘キャロラインさんが駐日大使になられ  
た。いくつもの悲劇をのり越えたその柔和な  
笑顔に沿道の人たちは魅了された。就任を祝  
福するように小春日和になった。  
三句目、お城の石垣の美しさに魅了されて  
いる人は多い。雪晴の石垣は格別に美しい。  
白と黒の斑模様はまるで墨絵のよう。

### 柳壇

四電 英夫 選

厳しい世希望の明かり開ける窓 村上 照夫  
老いるとは口と力の反比例 鎌田 三無  
ここだけの話に注意秘密保護 草野 清  
次々と仲間古希よとVサイン 佐藤 啓子  
庭いじり終えて来る春夢に見る 高子うみん  
草むらにやわら身をひくはこべ草 遠藤 舞  
慎重にハンドルさばく朝の露 末吉アツ子  
山茶花のこぼれる匂い好きで立つ 斎藤 典子

評 一句目、昨年は政治経済自然災害など厳  
しい年だった。今年こそはの願いを込めて南  
の窓を開けておく。希望の光に願いを託し。  
二句目、年を重ね経験が豊かになると色々  
なことに口を挟みたくなくなるのが人情。それ  
反して体は鈍い。返事は軽く腰重く？  
三句目、国家の秘密・会社の秘密・個人の  
秘密。知られたいくないことばかり。しかしこ  
こだけの話社内を駆け巡り」と言う事も。

今年甲午年です。十二支では動物  
の「馬」があてられました。

その馬は、頭が良くて利口だと言わ  
れており、おどおどしながら馬に乗ろ  
うとすると、その人には従わず、人の  
心を見抜く能力を持っているようです。  
そして、ただ利口だけでなく、温和  
で働き者であることから古来から人に  
好かれる動物だったようです。

日本では馬が飼われていたのは縄文、  
弥生、と諸説あるようですが、人と馬  
との関わりが確かなのは、古墳時代に  
なつてからのようで、その時代後期の  
古墳からは、さまざまな馬具や馬形の  
はに輪などが出土し、それらから類推  
すると、日本古来の馬は、とても小さ  
い馬で、その馬の  
家畜化は紀元前の  
4千年ごろ、黒海  
沿岸でアリア人  
によってためされ  
たようです。紀元

前の馬も小さかったのですが、耐久性  
や牽引力に優れ、人は早くから馬の持  
つ力に着目。馬はまさに馬力があつた  
のです。ちなみに馬力とは馬一頭の力  
を示す言葉で、一馬力は一秒あたりに  
75kgを一m動かす力のことで

さらに馬の特技の一つに速く走るこ  
とも上げられますが、交通機関が発達  
する以前は、馬は交通の花形で、電話  
通信のない時代には、馬を乗りつぐ早  
馬が一番早い通信手段でした。よく時  
代劇に出てくるシーンの一つです。

奈良時代には、三十里ごと「駅」をも  
うけ、そこには駅長と馬がおり、その  
馬を駅馬と呼んでいたそうです。電車  
や新幹線が走る今になつても、駅とい  
う字が車偏ではなく、馬偏であるのは

そのためだそうです(小冊子の受け売  
り)。この小冊子を読みながら新しい知  
識を深め、馬と人間との生活の歴史に  
興味を持ちました。  
そうすると次は辞書の出番。まずは  
「駅」を調べてみました。やはり鉄道の  
駅や、今では道の駅を思い出しますが、  
辞書には「律令制で、公用の旅行や通  
信のために駅馬・駅船・人夫を常備し  
ている所」とまず書かれています。が、  
鉄道網のみならず全国に張り巡らされ  
た高速道路網の昨今、移動には車や電  
車を利用しますよね。それなのに駅は  
今でも馬偏。なんだかおもしろくもあ  
り、車偏になつてもおかしくないと思  
つてしまいました。しかし、漢字の成  
り立ちから歴史の  
謎が紐解かれてい  
く。それが日本語  
の「妙」なのかも  
しれませんね。  
探求心の赴くま

### 風間市長の風のささやき「甲午」

前に英語で駅は、ステーションなのか、  
ターミナルなのか調べる、なるほど  
と驚きの真実に心が躍りました。  
今年も解からないことや気になるこ  
とは、すぐに調べて自分の知識とし、  
馬の如く力強く、そして優しく邁進し  
てまいります。今では調べるツールは  
身の回りに多くありますので、皆さん  
も調べて出会う知識、判明する史実を  
楽しんでみてください。

まずは、今年の干支「午」!!うま、「馬」  
それぞれの漢字の成り立ちを調べてみ  
ると新たな知識との出会いが待ってい  
るかもしれません。  
「人間万事塞翁が馬」の如く、一年間、  
あらゆる情報を迅速に収集し、冷静に  
対応し、粹に楽しく過ごしましょう。